

エルサルバドル政治経済月報

(2019年2月分)

2019年3月
在エルサルバドル大使館

[大使館のビジョン]

エルサルバドルとの友好親善関係を増進し社会発展に貢献しながら日本の国益と国際公益の向上を目指す。

[大使館のミッション]

1. 日本の平和や繁栄を守るための外交政策の構築と実行。
2. エルサルバドルの世論に働きかける広報・文化事業の推進。
3. 在留邦人の生命と財産の保護，日系企業の活動支援。
4. 政治経済情報の収集・分析。
5. 自立的かつ持続的な開発への協力。
6. 服務規程を遵守し，風通しの良い職場環境の維持。

内政

1. 大統領候補選挙

3日，大統領選挙第一回投票が行われ，国民統合のための大連合（GANA）のナジブ・ブケレ候補が得票率約53%を獲得し，過半数を超える候補者がいない場合に，上位2名の候補者によって予定されていた決選投票を待たずに，勝利した。ブケレ次期大統領の就任は6月1日の予定。37歳のブケレ次期大統領は，エルサルバドル史上最年少の大統領となる。

2. サンチェス・セレン政権側政権移行チームの発表

5日，サンチェス・セレン大統領は，オルティス副大統領，ロレンサーナ報道官，メルガル大統領首席補佐官，アルバラード大統領府法律担当補佐官から構成される政権以降チームを発表した。ブケレ次期大統領側政権以降チームは，2月末時点で未発表。

外交

1. ブケレ次期大統領とメインズ在エルサルバドル米国大使の会談

7日，ブケレ次期大統領とメインズ在エルサルバドル米国大使が3時間にわたる会談を行った。メインズ大使は，同会談において，汚職対策及び犯罪組織対策に関する米国の支援，ベネズエラ情勢，現サンチェス・セレン政権による中国との外交関係樹立について話し合った旨，また，ブケレ次期大統領とトランプ米国大統領，又は，ポンペオ米国務長官との会談実現に向けて，両国関係者

が調整を開始している旨明らかにした。

2. ブケレ次期大統領とボルトン米国家安全保障担当大統領補佐官の電話会談

13日、ブケレ次期大統領とボルトン米国家安全保障担当大統領補佐官が電話会談を行った。同会談に関し、ブケレ次期大統領は自身のツイッターに、「米国はエルサルバドルにおいて同盟国のみならず、友人を見つけるだろう」というメッセージを掲載した。

3. 米国議員団のエルサルバドル訪問

18日～19日、Tom Carper 上院議員他民主党所属の米国議員団がエルサルバドルを訪問し、サンチェス・セレン大統領、ブケレ次期大統領とそれぞれ会談した。

4. ニールセン米国土安全保障長官のエルサルバドル訪問

20日、ニールセン米国土安全保障長官がエルサルバドルを訪問し、サンチェス・セレン大統領、ブケレ次期大統領とそれぞれ会談した他、中米北部参加国閣僚会合に出席した。

5. TPSの延長

28日、米国土安全保障省がTPSの2020年1月までの延長を発表した。同措置は、トランプ政権によるスーダン、ハイチ、エルサルバドル、ニカラグアを対象としたTPS終了という決定を一時的に指し止めするという米国連邦地裁の判決に従うもの。

経済

1. 台湾とのFTA破棄の動向

(1) 8日、台湾とのFTA破棄に関する当国経済大臣発国会外交委員会宛書簡がリークされ、当国外務省が、民間関連団体・企業との事前協議なしに同協定の破棄を決定していたことが判明した。

(2) 特に、台湾との貿易関係が強い当国砂糖協会は、事前協議なしの政府による「不透明な」意思決定を断固拒否する旨述べ、政府による今回の破棄プロセスを調査するよう国会に求めた。

(3) その後、国会において、本件調査のための特別委員会が組織され、現在、破棄プロセスにおける「憲法違反」を含む違法性の有無について調査がなされている。

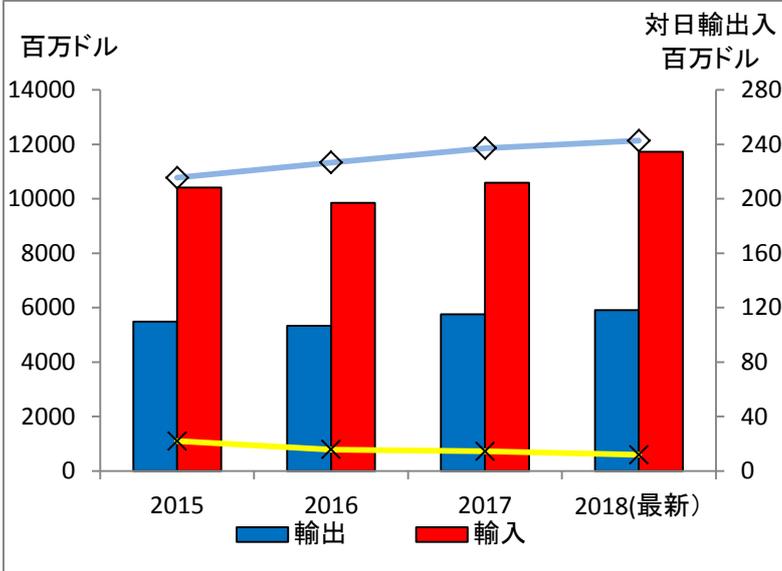
(4) なお、同書簡の中では、同FTAは2019年3月15日に効力を失う旨記載されている。

2. フィッチ・レーティングス社によるブケレ次期政権の分析

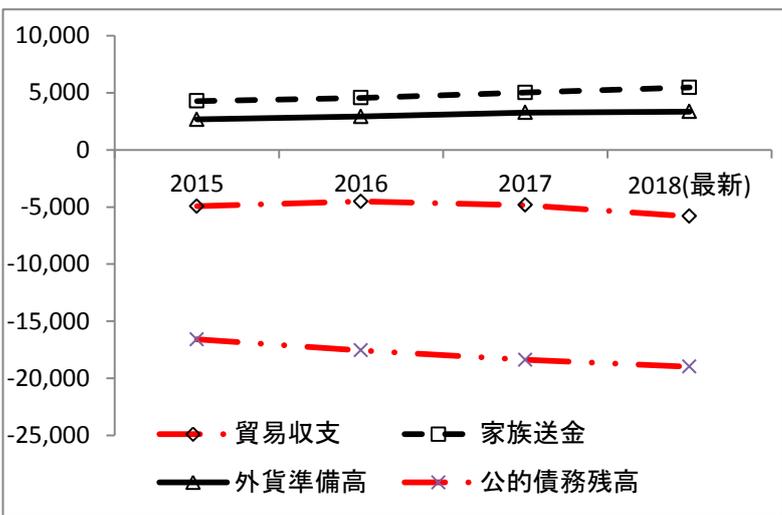
6日、国債格付会社フィッチ・レーティング社は、ブケレ次期政権の問題分析記事を掲載した。同記事において、ブケレ次期大統領所属のGANA党は国会で11議席(84議席中)しか有していないことが、次期大統領と国会の政治的対立と分極化のリスクを高めていると指摘している。また、同記事では、ブケレ次期大統領の経済政策が漠然としており、エルサルバドルは様々な経済・財政問題に直面する可能性があると指摘している。

3. クスカトラン銀行によるScotiaBankエルサルバドルの買収

8日、クスカトラン銀行(ホンジュラス資本)はScotiaBankエルサルバドルの銀行及び保険事業を100%買収することで合意した。今後、金融監督庁により、必要手続の審査が行われる。

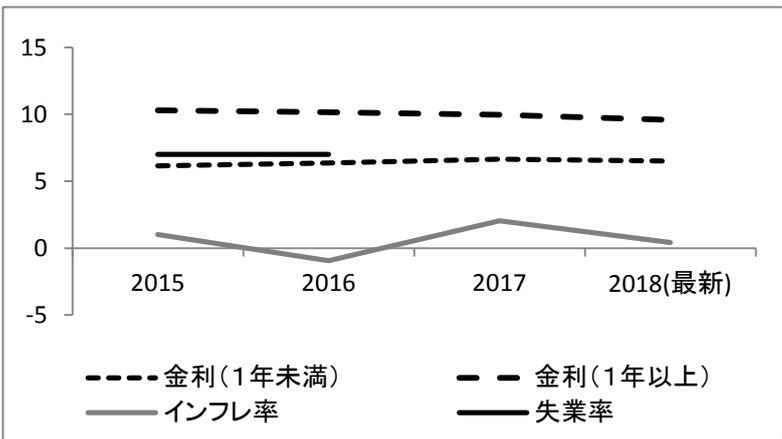


・2018年の輸出額は59億447万ドルとなり、前年比で2.5%増加した。輸入額は117億2580万ドルとなり、前年比で8.7%増加。



・2018年家族送金額は54億8,210万ドルとなり、過去最高額を記録。その内、米国からの送金は全体の93%を占めていた。

・貿易収支は-58億2,134万ドルとなり、貿易赤字は前年比で20.5%増加した。



2018年のインフレ率は0.43%となり、前年と比較し、1.61ポイント減少した。

治安

【主要事件・報道】

1. 当地主要紙の報道によると、2月の殺人件数は206件となり、昨年同時期と比べると約22%減少（2018年同時期よりも140件減）。大統領選挙後も大きな混乱や暴動等、発生してはいないが、連日、各地にて殺人事件や銃撃戦等が報道されていることから、今後も治安情勢を注視していく必要がある。

【主な邦人居住地区及び観光地治安情報】

1. 2月中のサンサルバドル市サンベニート地区及びエスカロン地区の殺人発生件数は1件。

2. 2月8日の午前6時頃、サンサルバドル市セントロ地区の中央市場内にて、男性1名が銃撃により死亡した。治安当局によると、被害者が中央市場内を歩行中に、マラス構成員3名が被害者に接近し、銃殺したのち、逃走したとのこと。同地区では同様の事件が多く発生しており、中央市場内における利権（みかじめ料）を中心としたライバル組織同士の抗争が後を絶たない。

3. 2月11日の深夜帯、Calle El MiradorとEl Pasaje la Cañadaとの交差点付近（キューバ大使館付近）にて、建築会社従業員が殺害された。治安当局によると、襲撃者たちは、バイクにて被害者に近づき、拳銃を発砲し、逃走した。後日、殺害された建築会社従業員は、マラスとは別の犯罪組織の構成員であることが判明し、殺害理由については、ライバル組織同士の抗争によるものと見られている。

4. 2月22日、サンサルバドル市セントロ地区にて、銃撃戦が発生し、警備員3名が軽傷を負った。治安当局によると、武装集団が警備員に対して発砲したことから、銃撃戦へと発展したとのこと。後日、武装集団のうちの1名が治安当局により逮捕された。以前より、同地域において、犯罪集団と警備員との衝突が発生しており、それに巻き込まれ負傷する事例も散見されるため、同地域周辺の訪問は控え、犯罪被害に巻き込まれぬよう注意する必要がある。

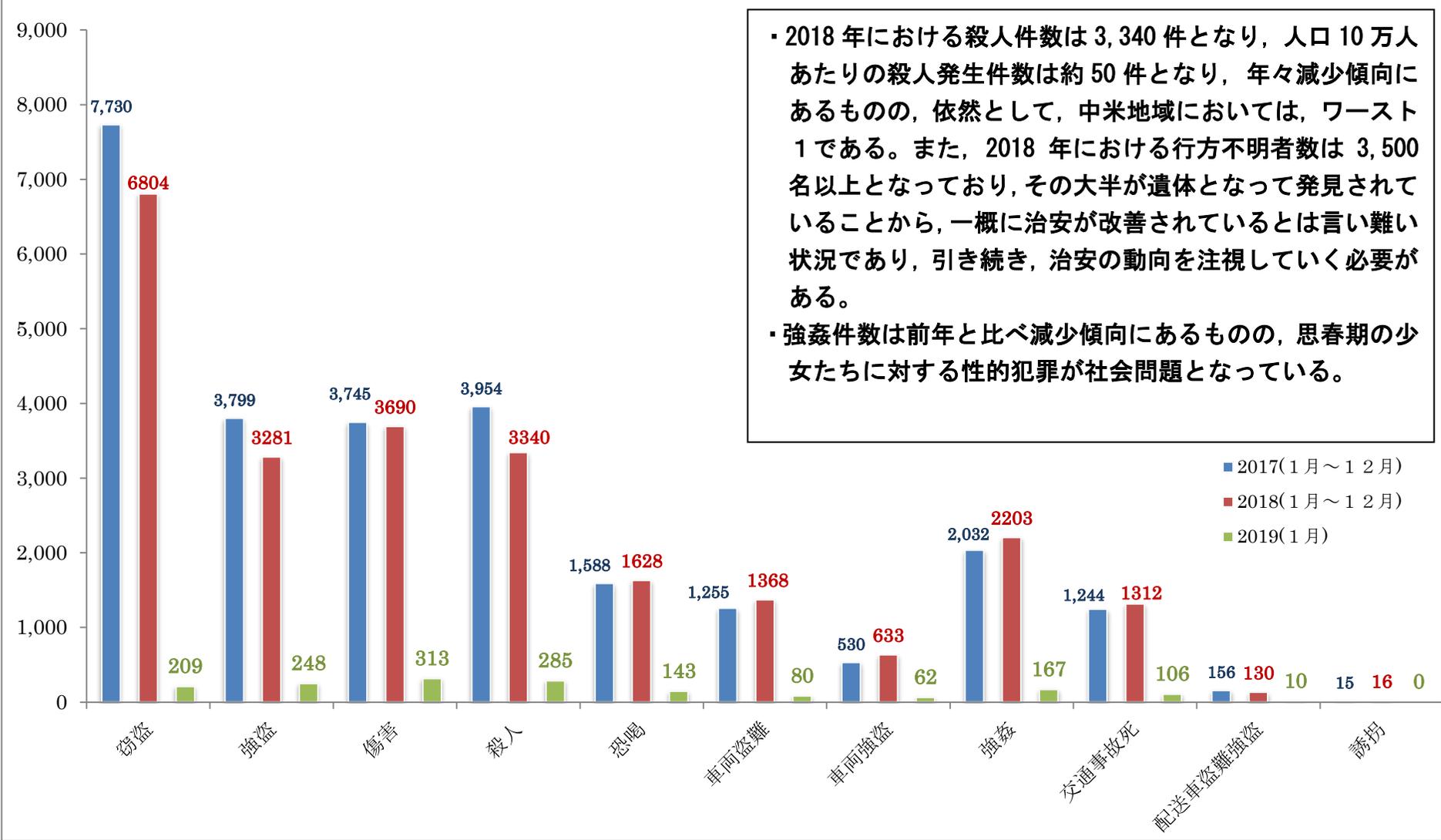
【観光地等における危険度レベル】

レベル1: 十分注意区域

レベル2: 不要不急の渡航中止区域

国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリノ児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタ・テレサ温泉	
スチト旧市街	
サン・アンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサ・ブランカ遺跡	
サンタ・アナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サン・ミゲル市	
オロクイルタ市	

治安統計
主要 11 犯罪（1 月）過去 2 年との同時期の比較



- ・ 2018 年における殺人件数は 3,340 件となり、人口 10 万人あたりの殺人発生件数は約 50 件となり、年々減少傾向にあるものの、依然として、中米地域においては、ワースト 1 である。また、2018 年における行方不明者数は 3,500 名以上となっており、その大半が遺体となって発見されていることから、一概に治安が改善されているとは言い難い状況であり、引き続き、治安の動向を注視していく必要がある。
- ・ 強姦件数は前年と比べ減少傾向にあるものの、思春期の少女たちに対する性的犯罪が社会問題となっている。

主な大使面談来館者

- 2月6日 国際交流基金メキシコ事務所：日本語教育専門家の表敬訪問
- 2月7日 太知ホールディング：医療器具関係ビジネス、エルサルバドルでの支店開設関係
- 2月8日 中米カリブ日本語教師：13ヶ国44名との懇親会
- 2月12日 NPO 法人 国際農民参加型技術ネットワーク：生活改善支援計画打合せ
- 2月12日 兼松、アジア航測代理店：プロジェクト調査
- 2月13日 日本製品輸入会社：22社の輸入会社との懇談会
- 2月15日 専修大学狐崎教授：東部地域開発プロジェクト近況報告
- 2月28日 1963年学生使節団 中野氏：表敬訪問
- 2月28日 JOGMEC メキシコ森元所長：資源調査

(大使の外出打合せ・訪問件数：12件)